

## 9 研究活動と研究環境

### 2005年以降に設定した目標

<p>【9.1 研究環境】</p> <p>1. 社会学研究科独自の紀要の刊行、研究会の開催などについて検討する。</p> <p>2. ポストCOE対応として、次期COEへの応募とともに、研究論文公表・発表機会の増加をはかるための組織的対応を検討する。</p> <p>3. 調査倫理については社会学研究科とCOEとの共同で検討を行う。</p>
<p>【9.2 研究活動】</p> <p>1. 国内外の雑誌への投稿を促すために、研究科として、社会学研究科独自の継続的研究プログラムを検討する。</p> <p>2. 内外の研究拠点間のネットワークを強化し研究者の交流拠点になるような継続的な共同研究の組織とそのための施設を充実させる。</p> <p>3. 計画されている先端社会研究所計画の推進は必須となる。COEプログラムの必須条件ともなっているCOE修了後のプログラムの継続（ポストCOE）を活かすための方針の検討を行う。</p>

### 進捗状況報告

<p>【9.1 研究環境】</p> <p>1については、COEプログラムのなかで、インターネットを利用した投稿-コメントシステム（ASRO）を稼働させ、院生などの論文を掲載しはじめた。</p> <p>2については次期COEへの応募に具体的に動き出している。研究論文公表・発表機会の増加をはかるための組織的対応については、COEプログラムの教育プログラムを研究科カリキュラム及び先端社会研究所の事業として継続することを検討中。</p> <p>3の調査倫理については、学部とも共同して検討すべきであるが、進んでいない。</p>																																																																																																																		
<p>【9.2 研究活動】</p> <p>1、2、3について、グローバルCOEへの応募を具体的に検討しはじめた。同時にポストCOEの事業として先端社会研究所を具体化し、その中の事業としても、研究活動をサポートする体制をとるように具体的に検討している。</p>																																																																																																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>学部</th> <th>年度</th> <th>著書</th> <th>論文</th> <th>ワーキング ペーパー 論文</th> <th>学会報告</th> <th>学術発表</th> <th>翻訳</th> <th>調査報告</th> <th>書評</th> <th>評論</th> <th>事典</th> <th>辞典</th> <th>講演</th> <th>招待講演</th> <th>特許取得</th> <th>特許出願</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">社会学部</td> <td>2001</td> <td>37</td> <td>47</td> <td>10</td> <td>29</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>7</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>14</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>2002</td> <td>31</td> <td>50</td> <td>7</td> <td>27</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>10</td> <td>9</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>9</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>2003</td> <td>32</td> <td>59</td> <td>11</td> <td>24</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>8</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>2004</td> <td>27</td> <td>40</td> <td>3</td> <td>31</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>2005</td> <td>21</td> <td>31</td> <td>12</td> <td>18</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>2006</td> <td>18</td> <td>51</td> <td>8</td> <td>32</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>8</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	学部	年度	著書	論文	ワーキング ペーパー 論文	学会報告	学術発表	翻訳	調査報告	書評	評論	事典	辞典	講演	招待講演	特許取得	特許出願	社会学部	2001	37	47	10	29	0	5	7	3	1	1	0	14	4	0	0	2002	31	50	7	27	0	2	10	9	2	2	0	9	1	0	0	2003	32	59	11	24	0	3	8	7	6	0	8	5	0	0	0	2004	27	40	3	31	0	3	2	6	1	0	1	1	1	0	0	2005	21	31	12	18	0	2	1	3	2	0	1	1	6	0	0	2006	18	51	8	32	0	2	0	3	6	1	2	8	3	0	0
学部	年度	著書	論文	ワーキング ペーパー 論文	学会報告	学術発表	翻訳	調査報告	書評	評論	事典	辞典	講演	招待講演	特許取得	特許出願																																																																																																		
社会学部	2001	37	47	10	29	0	5	7	3	1	1	0	14	4	0	0																																																																																																		
	2002	31	50	7	27	0	2	10	9	2	2	0	9	1	0	0																																																																																																		
	2003	32	59	11	24	0	3	8	7	6	0	8	5	0	0	0																																																																																																		
	2004	27	40	3	31	0	3	2	6	1	0	1	1	1	0	0																																																																																																		
	2005	21	31	12	18	0	2	1	3	2	0	1	1	6	0	0																																																																																																		
	2006	18	51	8	32	0	2	0	3	6	1	2	8	3	0	0																																																																																																		

### 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

3の調査倫理については、COEプログラムの中心課題でもあり、調査倫理をテーマとした研究会やワークショップなどを実施すると共に、『先端社会研究』に論文を掲載するなどの方法で研究をすすめている。調査倫理規定などについてもそれらの研究に基づいて学部と共同して整備をすすめる必要があると認識している。

### 学内第三者評価

COEプログラム及びポストCOEの検討など、研究活動は活発であり、評価できる。今後も先端社会研究所の開設、グローバルCOEへの応募への活動が期待される。調査倫理について必要な検討と整備の進展が望まれる。